

廟最宜稱雖天下万民皆以為宜願大王聽之

〔續修東大寺正倉院文書〕御野國味蜂間郡春部里太寶貳年戶籍

中政戶漢人意比止戶口廿略○中

安倍弟古安殘疾○中略

上政戶六人部加利戶口卅略○中

戶主孫石作部昨年十七癩疾○中略

〔日本書紀三十一〕四年正月壬辰大赦天下○中鰥寡孤獨篤癘不能自存者賜稻蠲服調役

〔延喜式四十二〕凡辨官及省臺下諸國符及癘疾仕丁歸向本鄉等各受取遞送

〔段注說文解字七下〕癘罷病也病當作癘罷者廢置之意凡廢置不能事○按ズルニ古クハ麻病ヲモ癘ト云ヘリ

重病

〔增補下學集上二〕重病支體

〔一話一言十七〕疾病

疾病トハヨホドワルキ也疾革トハ所謂トリツメタルナリ大病トハ所謂サシオモリタルニ

テ死ヲイフ也禮記檀弓ニ成子高寢疾慶遺請曰子之病革矣加至乎大病則如之何新注ニ大病

死也諱之之辭

〔源氏物語桐壺〕いづれの御時にか女御更衣あまたさぶらひ給けるなかにいとやむごとなきき

はにはあらぬがすぐれてときめき給ふありけり○中いとあつ○ま○く○なりゆきもの心ほそげに

さとがちなるをいよくあかすあはれなるものにおぼして人のそしりをもえはからせ

たまはず○下

〔日本書紀十四〕二十三年八月丙子天皇病彌甚與百寮辭訣握手歎歔